



[カンパスシール] レジ袋を断ってポイントシールを20ポイント集めると、参加店共通の50円割引券に。

参加店の声



[カンパスシール] 事業延長が決定しました！

シール配布期間と市民の皆さまが割引券として使用できる期間を1年間延長することとなりました。

店頭でのシール配布は
平成22年3月31日→平成23年3月31日

割引券としてのご利用は
平成22年4月30日→平成23年4月30日

にそれぞれ変更になりました。

カンパスシール事業は皆さまのご協力により成果が上がり、規模も拡大中です。引き続きマイバッグ持参によるレジ袋削減にご協力下さい。

お断り率の推移
(H18.12→H21.12)

9.5%

21%へ
上昇!

参加店舗数の推移
(H18.12→H21.12)

147店舗

300店舗へ
拡大!

具体的な成果としては以下のようになっています。

削減できたレジ袋枚数



約5,300万枚

原油に換算



約970キロリットル

←削減できた原油量

国内で使用されるレジ袋は年間約305億枚(1人がほぼ毎日1枚使っていることになる)です。レジ袋1枚製造するのに原料である原油を18.3ml使用します。年間使用量305億枚のレジ袋を製造するのに原油を約55.8万k1消費していることとなります。これは日本が輸入する原油の約1日分弱がレジ袋に使われていることとなります。

(裏面に続く)

カンパスに関するお問い合わせ・お申し込みは

北九州市民
環境パスポートセンター

TEL ☎093-663-7400

FAX ☎093-662-3800

〒805-0071 北九州市八幡東区東田2-5-7

http://www.kanpass.jp

●参加店募集中

カンパスシールを配布していただけるお店を募集しています。詳しくは北九州市民環境パスポートセンターまで。

現在参加店

300

店舗
2010.2.25
現在

●レジ袋お断り率

2010.2.25 現在

2010年1月/20.7%

○スーパー23.2% ○百貨店13.0% ○個人商店2.9%
○家電量販店1.0% ○病院内売店2.0%
○ホームセンター7.1% ○ドラッグストア5.8%

2009年12月/21.0%

お客様に導かれ、エコ活動
ゼロからのスタート



肉のやまぐち

代表取締役

深堀 勇さん

当店は住宅街の中で毎週金曜日と土曜日だけ営業している食肉専門店です。

平成18年12月に大里商栄会に声をかけていただき、カンパスシールに参加しました。以前は忙しさにまぎれてエコ活動など、他人事のように思っていました。大変恥ずかしい話ですが従業員全員がそうだったように思います。

それが、この事業を始めてお客様の関心の高さに驚かされ、少しずつですがゴミの減量化等を意識するようになりました。

当店では、特に若い世代のお客様の方が関心が高く、金曜日と土曜日の二日間で約90名のお客様がレジ袋を辞退されており、その数は今も増えております。

シール事業の延長に併せてこれからもお客様の声を聞きながら、今できるエコ活動・環境問題から一つずつ取り組んでいきたいと考えております。



肉のやまぐち(山口商事株式会社)
/北九州市門司区下馬寄8-19



CO₂削減効果



杉の森林の面積に換算すると



CO₂の削減効果としては左の図のようになっています。

本来レジ袋1枚焼却すると約60gのCO₂が発生します。カンパスシールの発行により5,300万枚×60g=3,180tのCO₂が削減されたことになり、それはスペースワールド12個の面積の森林が1年間に吸収するCO₂に相当します。ところで森林は地球規模でCO₂のバランスを保つ重要な役割をしていますが、私たちの生活の中の身近な道具の一つが、森林の存続に影響を与えています。その道具とは“割り箸”です。

日本国内で1年間に約231億本の割り箸が使われています。一人当たりでは年間約180本の割り箸を使い捨てていることとなります。

昔は日本の林業や割り箸業者が、間伐した木材や、家屋・家具などの生産で余った端材をそのまま捨てるのが「もったいない」ということで割り箸にして、私たちの食生活で使ってきました。しかし使用量の増加とコスト削減のため国産物から安価な輸入物へと変わっていきました。日本国内で消費されている割り箸の約98%が中国から輸入していますが、中国では日本のケースとは異なり山を丸ごと刈る伐採で割り箸を作っており、これが中国国内の環境問題になっています。そのため現在では中国で加工される割り箸の材料はロシア、モンゴルから輸入している状態で、日本はあちこちの地域の木から作られた割り箸を使っていることとなります。皆さんもこの現状をふまえてマイ箸の使用を考えてみてはどうでしょうか。

(出典：環境 goo 割り箸をめぐる6つの story)

生活の中の身近なエコ活動

カンパスシールは日常の買い物の中でできるエコ活動ですが、その他にも買い物で気をつけることでできるエコ活動（グリーンコンシューマー活動）があります。

地産地消の推進

その1つが食材は地元で取れたものを選んで買ういわゆる「地産地消」という行動です。この行動の根拠としてフードマイレージという考えがあります。これは直訳すると食料の輸送距離という意味で、重量×距離で表します。消費地と生産地の距離が離れるとこの値が大きくなり、輸送に使うエネルギーも大きくなるということです。実は日本は外国に比べて群を抜いてこの値が高いという事実があります。



国名	総量	国民一人当たり
日本	9002億800万	7093
韓国	3171億6900万	6637
アメリカ合衆国	2958億2100万	1051
イギリス	1879億8600万	3195
ドイツ	1717億5100万	2090
フランス	1044億700万	1738

※単位：トン×キロメートル（出典：農林水産省 2001年試算）

これにはいくつかの理由があります。日本は食料自給率が低く、特に重要な農産物である大豆、小麦などを外国に頼っています。また島国で、生産地から距離があることが多いということ、さらに日本人の食生活が昔とは変わり、さまざまな食料品を輸入しているということです。私たちの普段の買い物でできるだけ地元の食材を選ぶことがこの問題の解決のきっかけになるのではないのでしょうか。

過剰な包装を断る

「買う品物が一つだけなら袋を断りシールで済ませる。」「本屋でブックカバーを断る。」「和菓子屋で包装や紐がけを断る。」などです。

詰め替え製品を買う

洗剤、シャンプーのたぐいは詰め替えのものがだいぶ手に入りやすくなりました。

